

脳波を使った実験計画 ：脳波の計測・解析・解釈と産業応用

1名分料金で
2人目無料

～脳波データ解析を実際に体験する演習付講座～

- ◆日時：【LIVE受講】2026年2月20日（金） 10:30～16:30
【アーカイブ受講】2026年2月24日（火）～3月3日（火）
- ◆形式：ZoomによるWEB配信（職場や自宅のPCで受講可）
- ◆聴講料：1名につき55,000円（税込、資料付）
- ※会員登録（無料）をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
・1名でお申込みされた場合、1名につき44,000円（税込）
・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料（2名で55,000円（税込））

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

★HPはこちらから ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/2602116>

◆講師：筑波大学 システム情報系 知能機能工学域 准教授 博士（工学） 川崎 真弘 氏

【受講対象】

- ・脳波を使った医療関係者・基礎科学研究者
- ・脳波測定・解析技術を使った開発を進めている方
- ・脳波を使って産業応用を進めている方

【習得できる知識】

- ・脳波の計測・解析技術
- ・脳波を使った実験計画方法
- ・脳波の持つ認知科学的な解釈方法

【講座の趣旨】

近年、ヒトの認知機能や状態に関係する脳活動を分析するためのツールの一つである脳波は、安価で簡易的なものになり、医療現場だけでなく研究・開発・産業において身近なツールになってきた。一方で測定や解析が簡易的なものの、目的に対してどのような実験計画でデータを取得すべきか、どのようにデータを解析・解釈すべきか、が困難であることが問題である。

本講座は、この脳波とは何か、何がわかるのか、何ができるのかを基礎から知る。特に、各自が知りたい認知機能や状態を明らかにする心理実験の計画方法、それに伴った脳波測定方法、脳波データ解析方法を習得する。またサンプルデータを用いて、実際の脳波解析の演習を行う。最後に、これらの方法論を組み合わせてできること、期待される産業応用について議論する。

【プログラム】

1. 脳波の持つ意味
 - 1-1 脳の仕組み
 - 1-2 脳の認知機能
 - 1-3 脳波の情報

2. 脳波の測定方法
 - 2-1 脳波測定に必要な機器
 - 2-2 脳波測定に必要な環境
 - 2-3 脳波測定に必要な情報
3. 脳波の実験計画方法
 - 3-1 認知心理学アプローチ
 - 3-2 認知脳科学アプローチ
4. 脳波の解析方法
 - 4-1 前処理（ノイズやアーチファクトの除去方法など）
 - 4-2 事象関連電位
 - 4-3 時間-周波数解析
5. 脳波の解釈方法
 - 5-1 事象関連電位の解釈
 - 5-2 脳波リズムの解釈
6. 脳波を使った応用技術
 - 6-1 医療への応用技術
 - 6-2 コミュニケーションへの応用技術
 - 6-3 その他の応用技術：
 - ・ブレインマシンインターフェース
 - ・ニューロフィードバック
 - ・ニューロマーケティング

＜質疑応答＞

※職場や自宅のPCでオンライン会議アプリZoomを使って
受講できます。受講方法は申込後にご連絡いたします。

『脳波』セミナー申込書 ※ご希望の受講形式どちらかにチェックを入れて下さい⇒ ☐LIVE ☐アーカイブ

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録（無料） ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐Eメール ☐郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

左記の欄に必要事項をご明記の上、FAXでご送付ください。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして、受講券・請求書をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>